

がんの患者さんにご家族のための「きららサロン」から

私たちは今までに経験をしたことのない辛い日々が続いています。

「きららサロン」を利用してくださっていた方、そしてこのコロナ禍にがんと診断

された方、皆さまいかがお過ごしでしょうか？

不安や悩み、希望を話す場である「きららサロン」が休止になって1年近くに

なります。私たちボランティアスタッフは、皆さまにお会いできなくなりさみしく

思っています。

新型コロナウイルス感染症激増の今、皆さま大変な想いをされているのではないのでしょうか。私たちも1年近いサロンの休止に心を痛めています。皆さまのお話をお聞きしたいと思いつけています。(内藤)

きららサロンでの日々が懐かしいです。再開の日を待っています。(川内)

きららサロンスタッフは、いつも皆さんのことを思っています。皆さんとお会いできる日常が早く戻りますよう、心から願っています。(鈴木)

きららサロンでお話を伺っていた頃を、思い出します。お目にかかれる日を待っています。(村上)

私も不安なとき、誰かと話したかったです。お話ししましょう!(石井)

ただただ、皆さまと笑顔でお話できることを楽しみにしています。(古賀)

私たちとお話しませんか。

一人で悩まないでください。相談支援センターに、「きららサロンの人と話したい」とお伝えください。私たちからご連絡します。きららサロンスタッフは、あなたをお待ちしています。

(前川)

今年の今頃、私たちはサロンの11年目について希望をもって話していました。コロナ禍にあってもその希望は消えません。きららの再開を心から願っています。(鈴川)

あなたのことをいつも私たちは思っています。涙を流したり、辛さに挫けそうなとき、私たちに声をかけてください。(貞広)

きららサロンでの皆さまのお顔が目には浮かんできます。お会いできる日を待ち望んでいます。(木橋・植木・稲田・小松・石田)